

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成19年11月
(第44～48週)

発行年月日:平成19年(2007年) 12月27日
発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年		平成 18年		感染症 類型	疾 病 名	平成 19年		平成 18年		
		1～10月	11月	1～12月	11月			1～12月	1～10月	11月	1～12月	11月
		滋賀県	全 国	滋賀県	全 国			滋賀県	全 国	滋賀県	全 国	
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	東部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		鳥インフルエンザ	0	0	0	0	
	痘そう	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	
	南米出血熱(*)	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	70	0	19	45
	ペスト	0	0	0	0		日本脳炎	0	5	0	4	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	鼻疽(*)	0	0	0	0	0	
	結核(*)	144	12,247	19	5,248	ブルセラ症	0	1	0	0	5	
	ジフテリア	0	0	0	0	ペネズエラウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症(*)	0	0	0	0	0	
三類	コレラ	0	12	0	0	1	47	0	0	0	0	
	細菌性赤痢	**2	405	0	27	**6	483	0	2	0	2	
	腸管出血性大腸菌感染症	51	4,139	4	335	54	3,910	1	43	0	6	
	腸チフス	0	42	0	2	0	72	0	0	0	0	
四類	パラチフス	1	16	0	3	0	24	0	10	0	0	
	E型肝炎	0	48	1	2	2	70	0	0	0	0	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	A型肝炎	1	129	0	12	21	316	0	0	0	0	
	エキノコックス症	0	13	0	2	0	20	0	0	0	0	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	24	0	24	
	オウム病	0	27	0	2	0	22	0	0	0	0	
	オムスク出血熱(*)	0	0	0	0	-	-	11	639	3	70	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	2	193	0	21	
	キャサナル森林病(*)	0	0	0	0	-	-	2	191	0	13	
	Q熱	0	4	0	1	0	2	0	6	0	0	
	狂犬病	0	0	0	0	0	2	4	117	0	15	
	コクシジオイデス症	0	3	0	0	0	2	0	84	0	6	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	7	1,199	2	123	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	1	43	0	6	
西部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	-	-	0	13	0	2		
ダニ媒介脳炎(*)	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0		
炭疽	0	0	0	0	0	0	1	574	1	82		
つつが虫病	0	100	0	120	0	397	0	78	0	9		
デング熱	1	80	0	4	0	57	0	0	0	0		
								0	62	0	11	
								0	62	0	11	
								0	62	0	11	

-: 感染症法の改正以前は未集計 (*) : 感染症法の改正後(H19.4.1)から集計

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

滋賀県における全数報告 感染症の概要(11月)

<結核>

性別: 男性 12名、女性 7名
類 型: 患者 19名
無症状病原体保有者 1名
病 型: 肺結核 16名
その他の結核 3名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別: 男性 2名、女性 2名
年 齢: 2歳、20歳、30歳、53歳
血清型・毒素型: O157・VT2 3名
O157・VT1&VT2 1名

<E型肝炎> 男性・76歳

推定感染経路は経口感染で、推定感染地域は日本国内です。

<アメーバ赤痢>

男性・43歳、男性・52歳、男性・59歳
推定感染経路は経口感染および同姓間性的接触で、推定感染地域はタイ、ミャンマーおよび日本国内です。

<レジオネラ症> 女性・90歳

推定感染経路および推定感染地域は不明です。

<後天性免疫不全症候群>

男性・34歳、男性・43歳
2名とも無症状病原体保有者で、感染経路は同性間性的接触です。

<梅毒> 女性・30歳

早期顕症梅毒で、推定感染経路は異性間性的接触です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

11月の概要

<インフルエンザ>

第47週(11/19～11/25)以降増加傾向を示し、大津、甲賀、彦根および高島でやや多くなっていました。

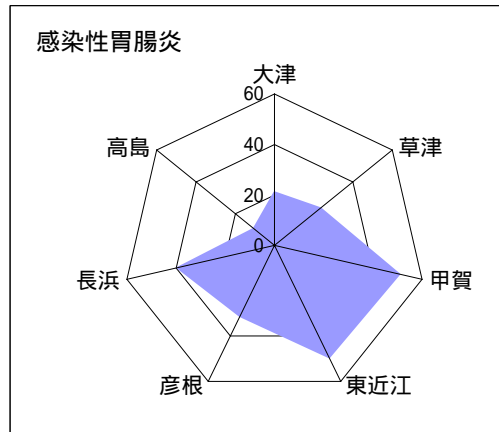
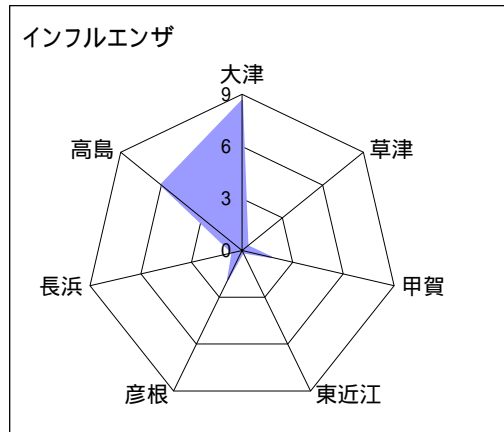
<小児科定点疾患>

先月より減少した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)およびヘルパンギーナで、百日咳、風しんおよび麻しんの報告はありませんでした。それ以外の疾患では増加し、特にA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎および水痘で急増していました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月よりやや増加し、高島からの報告が多くなっていました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎は先月より減少、マイコプラズマ肺炎は先月と同様の報告数でした。クラミジア肺炎および成人麻しんの報告はありませんでした。

インフルエンザおよび感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況(第44～48週、10.29～12.2、累積定点当たり患者数)



<各定点の対象疾患>

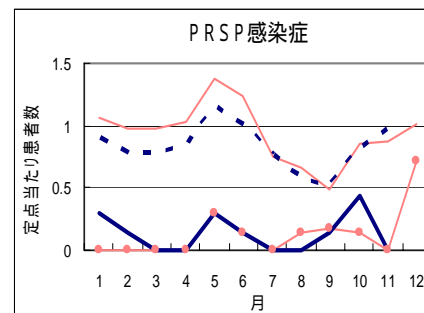
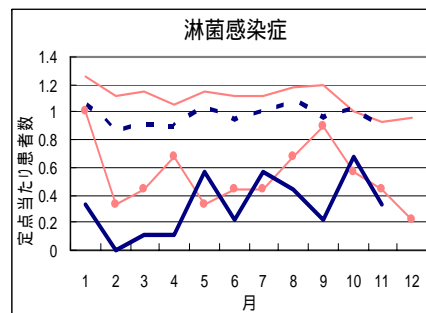
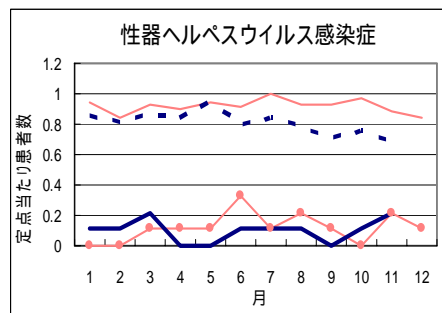
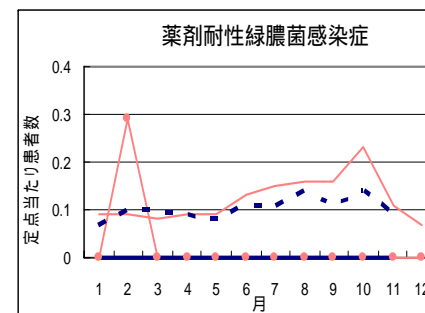
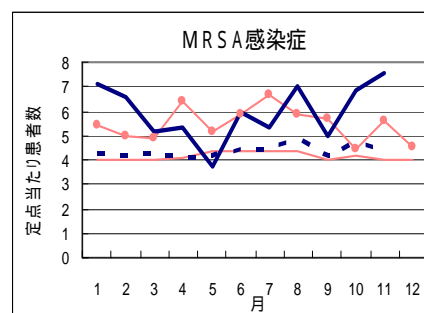
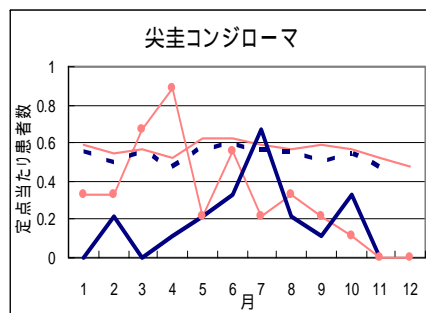
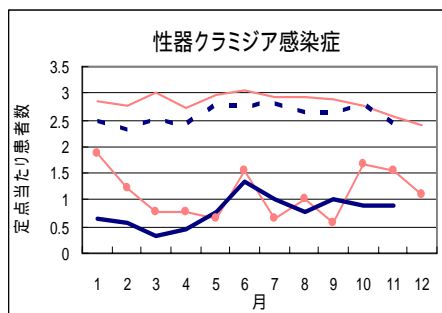
定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

第44～48週の累積定点当たり患者数についてみると、インフルエンザでは大津および高島で特に多くなっています。感染性胃腸炎では甲賀、東近江、彦根および長浜で多くなっています。両疾患とも、今後、例年増加する傾向であるため、感染予防に対する十分な注意が必要です。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年11月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5	3	4	7	12	9	7	9	8	8		78
	定点当たり	0.67	0.56	0.33	0.44	0.78	1.33	1.00	0.78	1.00	0.89	0.89		8.67
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1	2	0	0	1	1	1	0	1	2		10
	定点当たり	0.11	0.11	0.22	0	0	0.11	0.11	0.11	0	0.11	0.22		1.1
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2	0	1	2	3	6	2	1	3	0		20
	定点当たり	0	0.22	0	0.11	0.22	0.33	0.67	0.22	0.11	0.33	0		2.21
淋菌感染症	罹患数	3	0	1	1	5	2	5	4	2	6	3		32
	定点当たり	0.33	0	0.11	0.11	0.56	0.22	0.56	0.44	0.22	0.67	0.33		3.55
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	50	46	36	37	26	42	37	49	35	48	53		459
	定点当たり	7.14	6.57	5.14	5.29	3.71	6.00	5.29	7.00	5	6.86	7.57		65.57
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	1	0	0	2	1	0	0	1	3	0		10
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.29	0.14	0	0	0.14	0.43	0		1.43
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

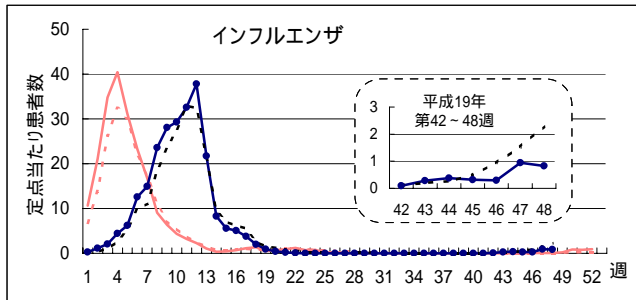


戻る

- H18 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ●●●●●
- H19 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ●●●●●

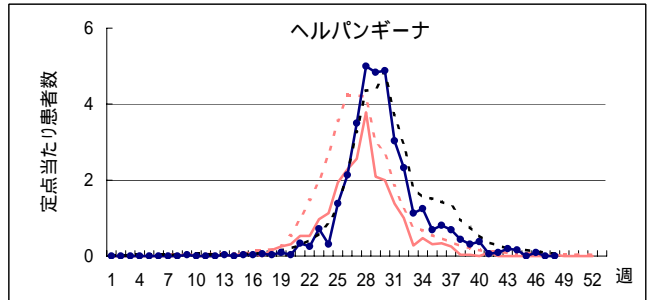
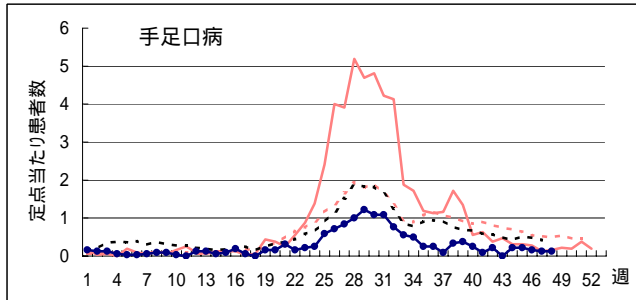
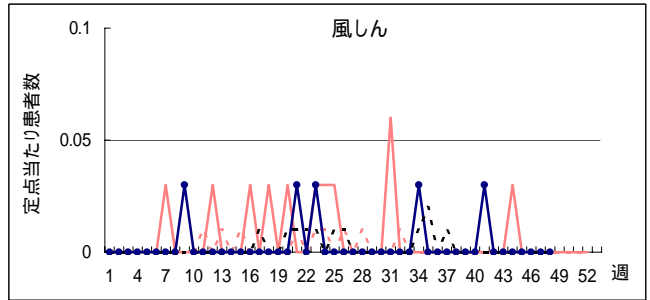
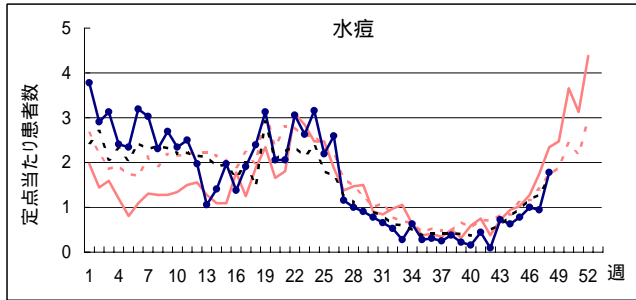
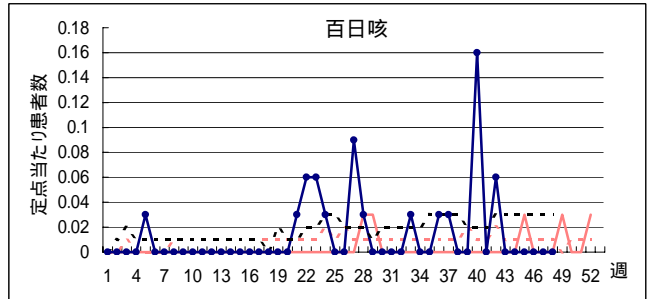
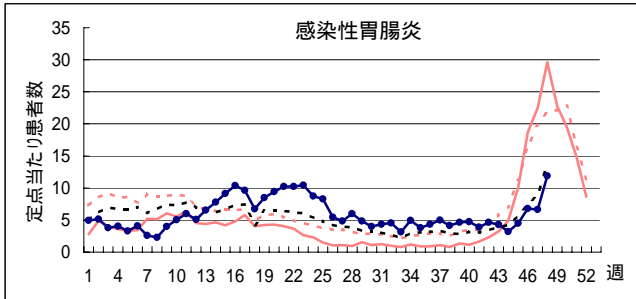
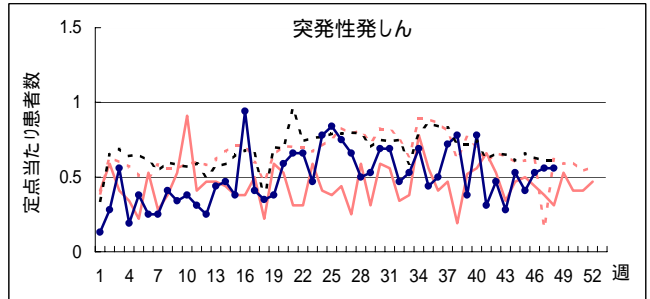
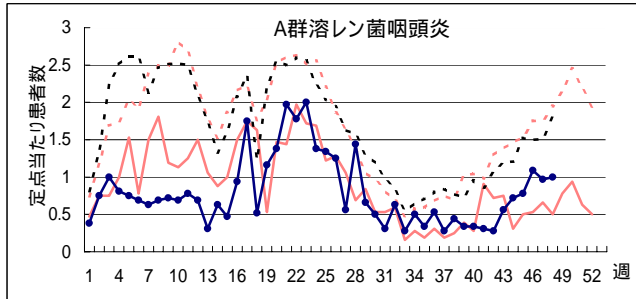
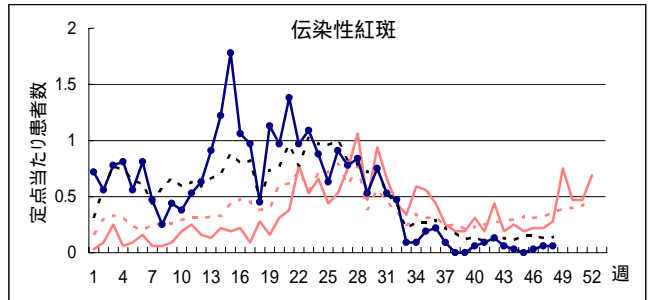
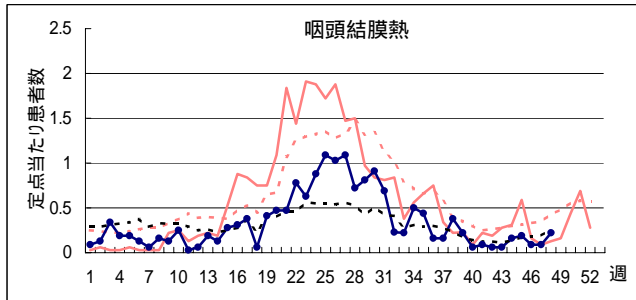
MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第48週、H19.1.1～H19.12.2)



H18 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第48週、H19.1.1～H19.12.2)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

